



半日開催・凝縮した運動会

2020年9月26日(土)、敷島北小学校第43回運動会を開催しました。

数日前から実施について悩ましい天気予報が出ており、保護者の皆様も、実施についてやきもきしたのではないのでしょうか。『実施』の判断をした後も、状況を確認するために学校のHPへのアクセスをされた方が多かったため、アクセス多数となり、サーバーの容量を超えてしまい、HPにアクセスできず、ご不便・ご心配をおかけすることになりました。

さて、そんな不安定な朝の天候の中で開会した運動会だったため、皆様に見てもらいたい表現や組み立て体操を、グラウンド状況が悪化する前に披露するために、プログラムの変更を行いました。結果としては、競技が始まると雨もほとんど降ることなく、予定した競技をすべて行うことができました。

各学年では、少しずつ練習を始めていましたが、運動会特別日課として本格的な取り組みを始めたのが9月16日。6日間だけの練習でしたが、6日間で取り組んできたことは、運動会の中で十分表現できていたと思っています。

プログラム順ですと、いきなりになってしまいましたが、5・6年生による組み立て体操。グラウンドいっぱい広がって演じた一人技が、一人一人の精一杯の姿を見せてくれました。そして、人数が増えると、お互いの信頼関係によって技が成功していく。途中でちょっとダンスが入って、緩急をつけた構成になっていました。運動会の醍醐味の一つを見せてもらいました。

1・2年生のライオンキング。校庭いっぱい広がった子どもライオンが、元気に踊る姿。リズムに合わせて動くことは意外と難しいものです。(ラジオ体操の跳躍運動はリズム通りにできる人が意外と少ない)それを、ライオンらしい振り付けをしながら隊形移動までできていました。かわいいしっぽがゆらゆら揺れて、体いっぱいの表現になっていたことがよくわかりました。

3・4年生の花笠音頭。体の動きが傘の動きを支えているので、花笠の動きがポイントだと思って見ていました。花笠がどれだけ動いているか、時には「ハサッ」という音ができるくらいきびきびと、時には滑らかに体のまわりを動き、リズムカルに跳ねるように動いたり。運動会での花笠音頭を見るのは久しぶりでしたが、フォーメーションの変更や曲調の変化があり、後半は特に躍動感があるものになっていました。

この後は、学年ごとのリレーと全校種目。「優勝目指して」みんなそれぞれが一生懸命な姿を見せてくれました。結果は、わずか2点差で赤組の優勝。優勝目指して頑張ったことが、見ている人も引き込むような素晴らしい戦いになったのだと思います。優勝旗と準優勝カップを渡したときの二人のリーダーの顔は、対照的でしたが、それは本当に一生懸命に取り組んできたことを表しているように思えました。

力を出し尽くした両チームに、あらためて拍手を送りたいと思います。

運動会へのご協力に感謝

不安定な天候の中で始まった運動会でしたが、なんとか無事終了しました。保護者の皆様には運動会の運営を支えていただき、大変ありがとうございました。

市内でも一番規模が小さい学校で職員数も少ないので、準備と片付けにご協力いただけることは体験心強く感じました。私の経験上(万国旗がないとはいえ)片付けが最も効率よく短時間に終わったので、本当に驚きました。また、感染症防止のために、児童席と観覧席を区切ることに關してもご協力いただき、有難く感じています。

今後とも、ご支援いただけますようお願いいたします。

職員に関するお知らせ

～学校職員の紹介～

甲斐市の学力向上支援スタッフとして、岩瀬和美先生と柳本大輝先生が10月1日から勤務しています。岩瀬先生は1・2年生、柳本先生は3・4年生の授業の支援を担当します。

よろしく申し上げます。